



# きずな

平成29年12月号  
特別養護老人ホーム  
ユニット型特別養護老人ホーム  
鳳鳴苑

<http://www.fukuhoukai.jp/>



開会式



生花クラブの様子



入居者による舞台発表



おたまじゃくしの会

## 第29回

# 文化祭

11月12日(日)



喫茶



売店



### 基本理念

- 一、高齢者の生活と人権を尊重し、公正で開かれた施設運営に努めます。
- 二、高齢者が地域で安心して生活を送ることが出来る拠点施設となるように努めます。
- 三、施設は、利用者の社会生活の場として位置づけ、安全で安心した日常生活を送ることが出来る環境づくりに努めます。
- 四、職員は、常に満足のいただけるサービスが提供できるように励み、地域社会活動にも積極的に関わり、地域から求められる施設となるように努めます。



# 12月のお誕生者様

酒井 信子 様

有澤 よし子 様

出野 淑子 様

豊本 ユキ子 様

安藤 昌子 様

小竹 興宗 様

松本 朝子 様

お誕生日おめでとうございます



## 行事予定



- 5日 なつメロミュージック (ボランティア)
- 9日 ハッピーバンド (ボランティア)
- 12日 ひまわり一座 (ボランティア)
- 13日 とんぼの会 (ボランティア)
- 20日 みんなの会 (ボランティア)
- 21日 フォルテッシモ (ボランティア)
- 26日 移動図書
- 日未定 クリスマス会 (各ユニットにて)



- 10日 とんぼの会 (ボランティア)
- 17日 みんなの会 (ボランティア)
- 18日 フォルテッシモ (ボランティア)
- 23日 移動図書
- 日未定 新年お楽しみ会 (各ユニットにて)



11月に活躍されたボランティア

とんぼの会 みんなの会 フォルテッシモ 長山裕一

かがやき おたまじゃくしの会 (順不同・敬称略) ありがとうございました

# 看取り介護

鳳鳴苑では近い将来死にいたる事が予見される方に対して、身体的・精神的苦痛や苦悩をできる限り緩和し、死に至るまでの期間を可能な限り、心安らかにご本人らしい日々を過ごすお手伝い（看取り介護）をさせていただきます。

## 看取りの時期

医師がどのような治療も効果がない、回復の見込みがないと判断し、医療機関での対応の必要性が薄いと判断した時がご本人様にとっての「終末期」となります。当苑では医療機関での治療を行わず、また危篤状態に陥った場合も病院には搬送せず、苑内で最期を迎えます。施設での看取り介護は、長年過ごした場所で親しい人に見守られ自然な死を迎えます。

## 看取りの取り組み

### ① 看取り介護の為のケアプラン作成を毎月行います。

ご本人様とご家族様の不安な思い、ご意向・ご希望をプランに反映し、ケアに繋がります。

### ② 主治医の指示に従い、他職種と緊密な連携をおこない症状緩和となるように努めます。

### ③ ご家族様に報告いたします。

ご希望があればお電話で日々の状態をお知らせする事もできます。

### ④ 可能な限り無理なくお口からお好きな物を食べていただけるように支援いたします。

昔お好きだった食べ物、飲み物を食べやすい形態にして提供する事もできます。

### ⑤ 穏やかに過ごせるように環境整備に努めます。

好きな音楽、好きな香り等、思い出の写真などをご家族様にご用意して頂くこともできます。

ご家族様が側に付き添い見守りを行う事もできます（有料で寝具の貸し出しも行なっております）

状態によっては静養室（個室）をご利用いただくこともできます（別料金はかかりません）

### ⑥ ご家族様の介護のお手伝いをいたします。

食事の方法、口腔内のマッサージの仕方、体の清拭やマッサージの仕方など、少しでも何かをしてさしあげたいと思っておられるご家族様へのアドバイスや一緒に介護を行う事のお手伝いをいたします。

### ⑦ ご本人様・ご家族様の不安を共有いたします。

日々ご様子が変わられていく中、不安を感じておられるご家族様の思いを職員一同で受け止めます。

些細なことでもかまいませんのでご相談ください。

### ⑧ 最期に・・・

人生の最期に相応しく、生前のその人らしい姿に整えさせていただきます。ご本人様がお好きだった衣装を着ていただくこともできます。

職員一同で感謝の気持ちと共にお見送りをいたします。



# 看取り介護を経験して

当苑ではご家族様の思いに寄り添い、今後の看取り介護に生かす為に看取りを経験されたご家族様と職員との振り返りの時間を設け、貴重なご意見をいただいております。

## ご家族様の感想

- ・居室を静養室に移動し、数日間、家族交代で鳳鳴苑に泊まり込んだ。本人に分かるように声をかけたり、身体をさすったり、家族でゆっくりと最期の時間を迎えられた事がよかった。
- ・段々と食事ができなくなり、水分の摂取量も減り死が近づいているのだと覚悟をしていた。亡くなるときに側で見送る事ができてよかった。こまめに連絡をいただき感謝をしている。
- ・息を引き取る瞬間に職員が側にいてくれた事が嬉しかった。母が1人で亡くならなくてよかったと思った。

## 職員の感想

- ・最期を迎えるにあたりご家族様とのコミュニケーションが大切だと思った。その方らしく過ごせるように援助したいと思った。
- ・看取りをした後、ご家族様の前で言葉が詰まってしまう上手く話せない事があった。年下の自分がどのような言葉をかけたらいいのだろう、伝わるのだろうかと不安になった。
- ・ご家族様によっては息を引き取るのを見守りたいと言われる方もおられ、その際には間に合わない事もあると説明をするが、間に合わない場合は後悔してしまう。
- ・悲しい気持ちと今までありがとうございましたという思いがある。最期のお世話ができて本当に良い仕事をしているといつも思う。

## 鳳鳴苑からのお知らせ

インフルエンザ・ノロウイルスの流行時期となりました。

12月1日より面会の際は手指消毒とマスク着用をお願いしております。  
また、下記の症状のある方の面会をご遠慮ください。

- ・嘔吐・下痢・発熱などの症状がある方
  - ・身近に症状が出ている人がおられる方
- みなさまのご協力をお願いいたします。

